

## 創立120周年で 1300人飛躍誓う

仁愛女子高

創立120周年を迎えた福井市の仁愛女子高の記念式典が19日、同校で開かれた。写真。生徒や教員、学校関係者ら約1300人が出席し、120年の歴史を振り返るとともに、今後の飛躍を誓った。

同校は1898年、婦人仁愛会教園として誕生。北陸3県で唯一の女子校として女子教育に尽力し、これまでに3万6千人以上の卒業生を送り出してきた。

式典では禿了修校長が「思いやりの気持ちを大切にでき、美しい世を開く灯火となれるような教育を力強く精進していきたい」と式辞を述べた。

1148人の生徒を代表し生徒会長の竹澤佑未さんが「歴史と伝統あるこの学びやでこれからも懸命に学び、美しい花を咲かす太陽のような存在



でありたい」と抱負を述べた。武蔵野大名菅教授の山崎龍明さんによる「いのちの尊さ、悲しさ、素晴らしさ」と題した記念講演と、同校ダンス部による踊りの披露もあった。

(守長奈生佳)